



「引火性・発火性のあるごみ」 の出し方

気を
つけて!!



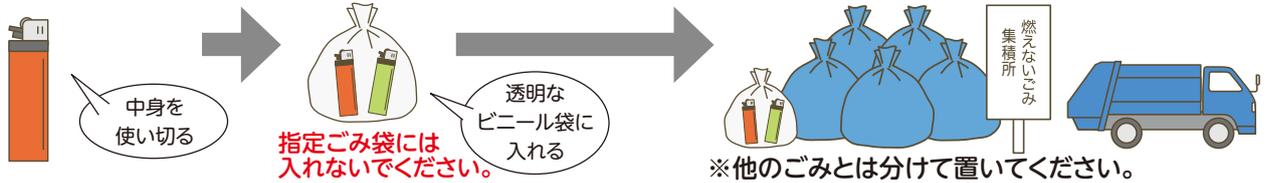
収集車や処理施設での火災事故が多発しています!

可燃性ガスが残ったライター・カセットガスボンベ・スプレー缶をそのまま収集車に入れると、収集車内にガスが充満し、金属の摩擦による火花によって火災が発生します。火災による事故を防ぐため、必ず出し方を守ってください。



ライター(ガス・オイル)

中身を完全に使い切り、透明なビニール袋に入れ、**燃えないごみの日**に集積所の隅に置いてください。(※どうしても中身が使い切れない場合も同様)



カセットガスボンベ・スプレー缶

①スプレー缶等の中身を空にしてください

スプレー缶やカセットガスボンベの中身が残っているときは、使い切って、空の状態にしてください。

(例)●製品に記載してある方法でガス抜きをお願いします。

※ガス抜きの方法が分からないときは、次の機関へお問い合わせください。

- ☆スプレー缶 一般社団法人日本エアゾール協会 TEL 03-5207-9850
- ☆カセットガスボンベ 一般社団法人日本ガス石油機器工業会 TEL 0120-14-9996
- ☆スプレー式の消火器 製造メーカーまたは日本消防検定協会 TEL 0422-44-8451

②スプレー缶等に穴は開けないでください

スプレー缶やカセットガスボンベに穴を開けると、火災事故等の原因になりますので、穴は開けないでください。

③スプレー缶等は透明なビニール袋に入れてください

スプレー缶やカセットガスボンベは、中が見えるように、透明な袋に入れてください。

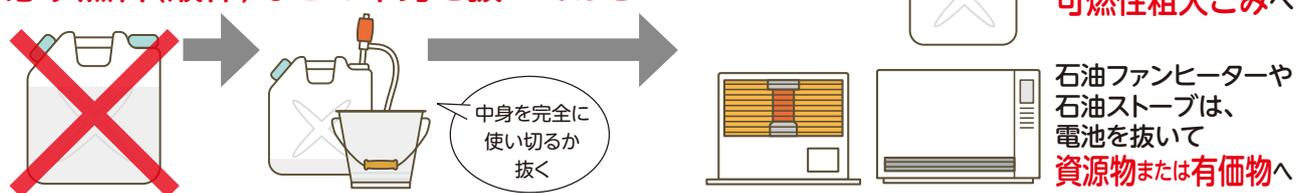
④資源物・有価物回収日に出してください

中身を空にしたスプレー缶やカセットガスボンベは、透明なビニール袋に入れて資源物回収日、または、有価物回収日に出してください。



燃料が入っているもの

ポリタンクなどの容器や石油ファンヒーター・石油ストーブなどは、**必ず燃料(液体)などの中身を抜いてから**出してください。



お問い合わせ先

ごみ収集課 ☎055-241-4313

ごみ減量課 ☎055-241-4327